

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 4 区分
 【発行日】平成 18 年 7 月 20 日 (2006.7.20)

【公開番号】特開 2000-350402 (P2000-350402A)

【公開日】平成 12 年 12 月 15 日 (2000.12.15)

【出願番号】特願 平 11-156853

【国際特許分類】

H 0 2 K 5/173 (2006.01)

F 1 6 C 25/08 (2006.01)

H 0 2 K 5/16 (2006.01)

【F I】

H 0 2 K 5/173 A

F 1 6 C 25/08 Z

H 0 2 K 5/16 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 5 月 31 日 (2006.5.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 モータの回転部材を 1 個の転がり軸受で支持させると共に、当該軸受に予圧が付与されていることを特徴とする情報機器用小型モータ。

【請求項 2】 上記転がり軸受の転動体数を 5 個にすると共に、当該転がり軸受における転動体の負荷率を 40% 以上に設定したことを特徴とする請求項 1 に記載した情報機器用小型モータ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

【課題を解決するための手段】

上記課題を解決するために、本発明の情報機器用小型モータは、モータの回転部材を 1 個の転がり軸受で支持させると共に、当該軸受に予圧が付与されていることを特徴とするものである。

また、上記転がり軸受の転動体数を 5 個にすると共に、当該転がり軸受における転動体の負荷率を 40% 以上に設定したことを特徴とするものである。

モータの回転部材を 1 個の軸受で支持させることにより、モータの厚さ方向に 2 個の軸受を並べて回転部材を支持させる場合に比べて大幅にモータの薄型化を達成可能となる。